

2011年度

科目名	絵画・工芸(含、理論)				
担当教員	稲葉 正治				
配当	教福1(6214)		コード	12018	
開期	通年	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	基礎造形概論とその技法を修得する				
目的と概要	幼児や児童の造形的な成長・発達段階に見られる「表現」の特質や傾向を理解し、幼児や児童の造形的な創造活動の意義について探究する。本講座では、主として表現にある基本的な事柄を実技実習し、その技法を体得していく。特に、「線表現」「面表現」「色彩表現」「立体表現」「楽しい造形活動」「鑑賞」の各領域から、教育現場で行われている学習の実際を体験していく。				
成績評価法	制作活動の様子(30%)提出作品(60%)テスト及び自己評価(10%)などによって総合的に評価する。				
テキスト	使用しない。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	本講座で制作した作品類は、教育実習時に教材研究の有効な参考資料となるので、大切に保管のこと。授業時に配布するプリント類は、きちんとファイルしておくこと。次回の課題を確認して、個人準備品は忘れないこと。又、必要な場合はアイディアスケッチ等を準備してくること。				
講義計画					
	基礎造形概論	実技実習の内容		備考(持参物)	
第1回	オリエンテーション、レタリング	明朝体・ゴシック体		鉛筆	
第2回	デッサンについて	鉛筆デッサン①		鉛筆(HB、2B、4B)	
第3回	陰陽表現について	鉛筆デッサン②		鉛筆(HB、2B、4B)	
第4回	線表現にある基本的な事柄	一本線描法		鉛筆(HB、2B、4B)	
第5回	パスの持ち方、塗り方	線塗り、面塗り、混色		パス(16色)	
第6回	パスの技法①	フロッターージュ		パス(16色)	
第7回	パスの技法②	ステンシル		パス(16色)	
第8回	パスの技法③	スクラッチ		パス(16色)	
第9回	パスの技法④	バチック		パス、水彩絵の具一式	
第10回	水彩絵の具の色遊び	ドリップング、ブローイング、デカルコマニー		水彩絵の具一式	
第11回	水彩絵の具の基本的な事柄①	濃淡、透明、明暗		水彩絵の具一式	
第12回	水彩絵の具の基本的な事柄②	混色、重色		水彩絵の具一式	
第13回	水彩絵の具の技法①	にじみ、ぼかし		水彩絵の具一式	
第14回	水彩絵の具の技法②	ウォッシング、かすれ		水彩絵の具一式	
第15回	水彩絵の具の技法③	スタンピング、たんぼ、ストリングデザイン		水彩絵の具一式	
第16回	貼り絵を使った技法	フォトモンタージュ		広告紙、はさみ、その他	
第17回	はさみ、のりの基本的な事柄	紙工作①		はさみ、カッターナイフ	
第18回	カッターナイフの基本的な事柄	紙工作②		はさみ、カッターナイフ	
第19回	粘土の基本的な事柄	紙粘土の立体①		雑巾	
第20回	粘土の種類と特徴	紙粘土の立体②		雑巾	
第21回	版画の色々①	マーブリング、染め紙		古新聞、雑巾	
第22回	版画の色々②	凸版、凹版		ボールペン、古新聞	
第23回	版画の色々③	刷り		ぼろぎれ、古新聞	
第24回	技法・色彩に関する用語	色彩ワーク		パス、筆記用具	
第25回	西洋美術史	西洋美術史ワーク		筆記用具	
第26回	日本美術史	日本美術史ワーク		筆記用具	
第27回	木工作の基本的な事柄①	木の切断		材料、軍手	
第28回	木工作の基本的な事柄②	木の接着、接合		材料、軍手	
第29回	テスト、鑑賞の重要性	鑑賞ゲーム		作品持ち帰り袋	
第30回	造形遊び	金工作		アルミ缶、軍手	